

グローバル政策イニシアティブ (GPI) ・2008 関西フォーラム

～グローバル・地域政策イノベーターが協働デザインする次世代のための仕組み創り～

グローバル化の深化に伴う様々な経済社会構造の変化に対して、国家と地域の政策対応の枠組みのギャップを埋めることが急務になっている。そのギャップを埋めるために、いかに戦略的に枠組みを構築するかが、持続可能な日本社会・地域を次世代に繋げられるか否かを大きく左右する。

本フォーラムでは、海外・国内の公共政策研究者が各分野の知を結集し、未来志向型および民間参画型の政策対応能力の向上策について議論し、政策イノベーションを通して長期的視点から政策枠組みを協働デザインすることを目的とする。

日時：2008年9月20日(土) 10:30-18:00 (受付 10:15～)
(フォーラム後の懇親会(会費 5,000 円)にもご参加下さい。)

会場：関西学院大学大阪梅田キャンパス (阪急梅田駅徒歩5分)
(大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー14階)

内容：■基調講演：寺島 実郎 (財団法人 日本総合研究所 会長)
「世界潮流と日本 一時代を見抜く視座」

■パネルディスカッション：年金改革、災害対応、環境循環型社会

■特別トークセッション：「新しい資金仕組み創りとシンクタンク」

※：詳細については裏面をご覧ください。

定員：100名

参加費：一般 3,000 円、学生 1,500 円

※GPI 関係者からのご招待の方は割引がございますので、受付にてお申し出下さい。

参加登録：GPI のホームページより。(「GPI フォーラム」で検索)

www.gpi-japan.net/japanese



主催：グローバル政策イニシアティブ(GPI)

共催：宝塚シンクタンク研究会

後援：日本経済新聞社 日本公共政策学会関西支部

協賛：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

■グローバル政策イニシアティブ (Global Policy Initiative: GPI) (www.gpi-japan.net/japanese)

「民が関わる政策活動をより具体化する仕組み創り」をミッションとして、2007年に創設された政策ネットワーク。日本・米国・欧州在住の政策研究者・実務家を縦横に繋ぐ。グローバル化の深化と公共政策の関係に主眼を置き、世界各地の研究者・実務家の経験と知識を有機的に体系化し、日本の政策インフラ創り、ひいてはグローバル社会に貢献することを目的とする。2007年東京キックオフフォーラム開催、政策オンラインジャーナル「GPIBrief - for Guiding Policy Innovation (政策イノベーションに向けて)」を創刊、隔月発行。

■GPI 2008 関西フォーラム実行委員会

共同ディレクター：清水美香 (East-West Center・米国)・中嶋圭介 (CSIS・米国)

フォーラム実行委員：紅谷昇平 (人と未来防災センター)・野村唯彦 (宝塚シンクタンク研究会事務局)

顧問：上野真城子 (関西学院大学)・唐沢敬 (立命館大学)・小池洋次 (日本経済新聞)

アドバイザー・メンバー：高田健治 (臨床医工学・情報学高度人材育成 コンソーシアム 関西)

鈴木崇弘 (中央大学 / シンクタンク 2005・日本)

■本フォーラムについてのお問い合わせ

電子メール：info@gpi-japan.net、電話：野村 090-9334-6989

グローバル政策イニシアティブ (GPI) ・2008 関西フォーラム :プログラム

10:30	開会挨拶:清水 美香 (GPI 共同ディレクター)、上野 真城子 (GPI 顧問)
10:40	基調講演 「世界潮流と日本 — 時代を見抜く視座」 寺島 実郎 (財団法人 日本総合研究所 会長)
11:20	パネル I 「公的年金改革の再検証:総合的退職保障への合意形成に向けて」 中嶋 圭介 (GPI 共同ディレクター・CSIS 戦略国際問題研究所 研究員/米国) 上村 敏之 (関西学院大学 経済学部 准教授) 田中 秀明 (GPI 政策エキスパート委員・一橋大学経済研究所 准教授) 玉木 伸介 (預金保険機構財務部 参与)
	5年ごとの人口推計改訂と財政再計算のサイクル行われてきた公的年金改革は、日本の高齢化対策の最前線として注目されてきた。しかし、官僚主導の財政的持続性の議論に終始するあまり、問題の本質を踏まえたうえで、改革の選択肢と効果を明示し、広く国民から理解と合意を得る形で行われてきたとは言えない。本パネルの目的は、2004 年改革の結果を複数の側面—財政的持続性、将来の給付・負担レベルの妥当性、総合的退職保障における政府の役割、国際的比較における日本の改革努力の評価—から検証し、次の改革ステップへの具体案を提示することにある。
12:40	(昼食休憩)
13:30 ～ 14:50	パネル II 「包括的災害マネジメント:情報・知識統合型の戦略的危機管理対応へ」 青田 良介 ((財) ひょうご震災記念21世紀研究機構 事業課長) 古川 勝久 (科学技術振興機構社会技術研究開発センター フェロー) 紅谷 昇平 (人と防災未来センター 主任研究員) 清水 美香 (GPI 共同ディレクター・East-West Center 客員研究員/米国)
	広域に影響をもたらす災害マネジメントにおいて、分野別対応、組織別対応など、縦割りで対応が依然として主流であるのが現状である。これに対し、本パネルでは、グローバル化を取り巻く構造的変化と、地域の要請の両方を考慮しながら、政策上戦略的にアプローチを行う方法について検討する。特に、分散化しがちな経験や知識を効果的に集約させ、包括的な取り組みを進めるための戦略的なプラットフォーム創りについて議論する。海外の地域の事例および日本の地域の事例を通して、市民と企業の観点を含め、ベスト・プラクティスと課題双方を引き出ししていく。それによって、包括型災害マネジメントのためのプラットフォーム創りの鍵となる要素を提示し、現状と比較しながら、改善に向けて何が必要かを検討する。
15:00 ～ 16:20	特別トークセッション 「新しい資金仕組み創りとシンクタンク」 鈴木 崇弘 (GPI アドバイザリーメンバー・中央大学 客員教授・シンクタンク2005・日本事務局長) 柴山 哲治 (京都造形芸術大学 客員教授・株式会社 AG ホールディングズ 代表取締役) 市村 浩一郎 (衆議院議員) 上野 真城子 (GPI 顧問・関西学院大学 総合政策学部 教授)
	本セッションでは、従来のアプローチを超えた資金仕組み創りとシンクタンクの在り方について議論する。GPI の焦点の一つである「民が関わるシンクタンクの仕組み創り」のために何が不可欠な要素になるのかについて具体的な示唆を得ることを目的とする。特にこれまでの経緯と現状を精査した上で、新しい資金仕組み創りを通じたシンクタンクの可能性と課題について提起を行う。
16:30 ～ 17:50	パネル III 「環境循環型社会の創造:温暖化と資源・食料問題から考える」 唐沢 敬 (GPI 顧問・立命館大学 名誉教授・東京国際大学 国際教育プログラム 顧問) 小林 隼人 (GPI フェロー・前世界銀行 コンサルタント・ロンドン大学博士課程/英国) 新澤 秀則 (兵庫県立大学 経済学部 教授) 松村 寛一郎 (関西学院大学 総合政策学部 メディア情報学科 准教授)
	人間の活動による環境破壊の影響は深刻さを増し、新興国の経済成長の環境負荷も今後更に高くなることを示している。グローバルな課題となった環境問題に対し、排出量取引を始めとする市場原理を導入することで、あるいは技術革新を進めることで対応しようとする取り組みが進む一方、持続可能な社会の実現には、根本的な社会システムの転換が必要との見方もある。本パネルでは、持続可能な社会のための具体策に関わる海外および日本の事例を通して、環境循環型社会創造の可能性について議論する。
17:50	閉会挨拶 :中嶋 圭介 (GPI 共同ディレクター)・小池 洋次 (GPI 顧問)
18:00	閉会 (18:30 より懇親会:ノールワインウェアハウス・大阪市北区茶屋町 10-12 NU chayamachi B)

(出演者の経歴等については、GPI ホームページをご覧ください。)